

EverySense & Linked Open Data チャレンジ Japan2014 オープンデータ・プラットフォームワークショップ & リアルセンサーデータ アプリ アイデアコンテスト開催のご案内

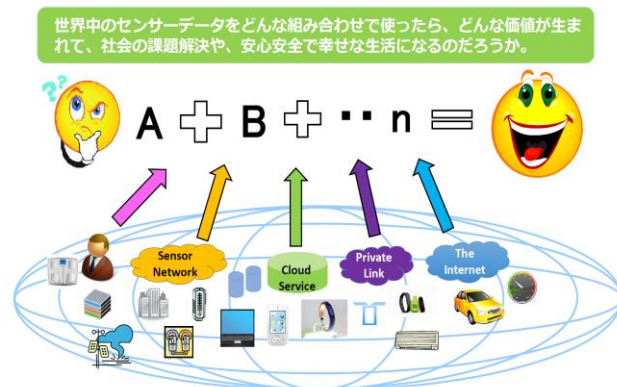
2014 年 11 月 4 日

「Internet of Everything—インターネットですべてをつなぐ」(IoE)によって、これまで結び付のなかった「人」、「モノ」、「データ」、「プロセス」がつながる新しい時代が展開されています。IoEによって世界中にあるセンサーが出すデータを組み合わせると有効活用したら社会や企業、個人に対してどんな幸せな社会ができるのか、どのようなサービスが実現できるか、ワクワクするような「アプリ」を考えてみませんか。例えば、センサーデータには、温度・湿度・歩数・心拍数・花粉・二酸化炭素・UV など、さまざまなものがありますが、それらを組み合わせると可視化したらビッグデータの先にあるオポチュニティーが見えてきます。

誰がどのようなデータを必要としているのか、またそのデータを用いてどのような情報提供やアプリケーションの提供ができて、世の中に役立つのか、豊かな社会ができるのかを複数人のグループでディスカッションをし、グループ毎にアプリケーションのアイデアを発表していただきます。

テーマ：センサー情報を活用した新しいアプリを考えよう

- 新たな「希少価値」を探す
- 違うもの同士を組み合わせる
- アイディアを可視化させる



背景：

インターネットの進化で、異業種間をつなぐ新たなビジネスが生まれています。またこれまでインターネットがほとんど活用されていなかった業種にインターネットを活用することで、大きな生産性を上げることが期待できるようになってきました。さまざまなモバイルアプリケーション、デバイス、センサーが大量データを生成する Internet of Things (IoT) 時代は、Machine to Machine (M2M) やセンサー技術など、モノとモノがつながり情報を収集しています。ここで重要な鍵を握るのが、膨大で多種多様なデータの活用と可視化になってきます。

EverySense では、この大規模に増え続ける様々なデータを組み合わせ人々が幸せになる価値を創出するために新たなアプリケーションやサービスの研究開発ができるようになることを目指しています。

また、本イベントで共同開催の「**LOD チャレンジ**」は、幅広い分野におけるオープンなデータづくりとデータを活用した作品および取り組みを表彰する日本初のコンテストです。インターネット上で、多くの人々が オープンにしたデータ(Open Data)を、皆でつなげて(Linkして)大きな価値を生み出していく運動は「Linking Open Data」と呼ばれ、世界中のあらゆる分野で急速に広がっています。今日、リンクトオープンデータ(LOD)を活用するための情報インフラストラクチャが増えています。LOD を用いた情報システム構築の需要増加を視野に入れ、大手 LOD プラットフォーム提供団体の担当者が最新の基盤サービスについてワークショップ形式で説明し、ワークショップ終了後にアプリアイデアコンテストを実施いたしますので、奮ってご参加ください。

オープンデータ・プラットフォームワークショップ&リアルセンサーデータ アプリ アイディアコンテスト開催概要

開催日時	2014 年 11 月 29 日(土)10:00～17:30 (受付:9:30～) 終了後懇親会を予定
開催場所	インフォコム株式会社 本社 11階会議室 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-17 住友不動産原宿ビル
主催	EverySense, Inc. Linked Open Data チャレンジ Japan 2014
協賛	インフォコム株式会社、オムロン株式会社
参加費	無料
募集数	50名(応募者多数の場合は先着順とさせていただきます)
参加資格	モチベーションが高い参加者を想定しています。違った角度で見る事のできる若い才能を持った大学生・社会人の参加を期待しています。(18歳以上) また、留意事項に同意していただくことを参加条件とします。
申込み方法	info@every-sense.com 宛に以下の内容のメールをお送りください。 ----- 所属(会社名・大学名): 住所: 氏名: 性別: 年齢: E-mail: 留意事項に同意: する・しない (どちらかを選択ください) ----- ※メールのタイトルは「アプリアイデアコンテスト申込み」としてください。 ※参加申込受付確認のメールを送信しますが、受け取っていない方、心当たりのない方は以下のお問い合わせからご連絡ください。 ※参加票と当日のプログラムは順次参加者にメールにてご案内いたします。
申込締切り	2014 年 11 月 25 日(火)
審査基準	創造性、独創性、発展性、有益性、実用性などがあるか。 ※内容や詳細な審査基準に関しては、お答えできませんのでご了承ください。
審査方法	審査員による審査会を実施いたします。 ※内容や詳細な審査基準に関しては、お答えできませんのでご了承ください。
審査員	森山 聡之: 福岡工業大学 社会環境学科 教授 菊池 豊: 高知工科大学 連携研究センター 教授 荒川 豊: 奈良先端科学技術大学院大学 ユビキタスコンピューティングシステム研究室 准教授 柏崎 礼生: 大阪大学 サイバーメディアセンター 助教 佐々木 信也: 秋田県産業技術センター 主任研究員 生越 昌己: WASP 株式会社 代表取締役 真野 浩: EverySense, Inc. CEO 2014/11/4 現在

表彰

優秀なアイデアを発表したグループを表彰いたします。以下の賞品を予定しておりますが、各賞については「該当無し」となる場合があります。

● 最優秀賞

今後数回開催予定のアイデアソン、ハッカソンのベストアイデア賞受賞グループの中から1組を米国シリコンバレー（4泊6日）のベンチャー企業の視察旅行にご招待いたします。（2015年中実施予定）

ベストアイデア賞 1グループ

— ベストアイデアを事業化・開発する際に EverySense, Inc.が支援をいたします。

参加賞（上記受賞者以外全員）

— ギフトカード（500 円相当）

留意事項

成果物の権利・利用について

- （1）協力機関の素材自体および主催者等が撮影・録音した写真・動画・音声等を除いて、本イベントにおいて参加者が創作・開発した成果物（ソフトウェアその他の著作物、発明、アイデア、ノウハウ、コンセプト等を含みますがこれらに限定されません）の知的財産権は、参加者および主催者等との共有とします。参加者および主催者等は、互いになんらの制限なく無償で、非独占的に、自らの責任において当該成果物を自由に利用することができるものとします。
- （2）参加者は、他の参加者、主催者等およびこれらの者が指定する第三者に対し（1）に規定する成果物にかかる著作権人格権を行使しないものとします。
- （3）前2項に関わらず、協力機関の素材を利用した成果物を商業利用する場合は、協力機関の事前の同意が必要となります。
- （4）参加者は、自らが創作・開発した成果物の内容が、自らのオリジナルであり、第三者の著作権を侵害するものではなく、また公序良俗に反するものではないことを保証するものとします。

参加者の秘密情報について

- 参加者は、参加者が非公開を望む情報、著作物、発明、アイデア、ノウハウ、コンセプト等を本イベントで開示しないものとします。

主催者等の秘密情報について

- 本イベントにおいて主催者等が参加者に対し、秘密であることを明示した秘密情報を提供した場合、参加者はその秘密情報の取り扱いに関し、主催者等の指示に従わなければならないものとします。
- 参加応募にご提供いただいた個人情報は、当社が取得し、管理を行います。当社は、当社の[個人情報保護方針](#)に従って応募者の情報を取り扱うものとし、本イベントの実施に必要な範囲を超え、または[個人情報保護方針](#)に表明する目的以外に利用することはありません。

環境

1. 主催者から無償提供されるもの

課題、課題を手助けする様な参考資料の提供(後日参加登録者のみに開示)、昼食、懇親会費用、電源、インターネット環境(無線 LAN)、電源タップ、プロジェクタ。

2. 参加者が各自負担するもの

持ち込みノートブック PC、プレゼンテーション、現地までの交通費など

<本件に関するお問合せ先>

エブリセンスジャパン株式会社 アプリアイデアコンテスト事務局

E-mail: info@every-sense.com

以上、